

第1回 九州医学哲学・倫理学会 学術大会報告

平成22年7月17日、福岡歯科大学において、下記の通り開催された。

大会テーマ 「人間と医療」

1. 出生前診断と着床前診断の倫理的考察

— 本邦の現状と課題、着床前診断の学術的背景と今後の方向性 —

鹿屋体育大学 教授・外国語教育センター長
児玉 正幸

2. 高木兼寛博士(1852-1920)の生涯

株式会社井筒屋健康管理室 室長
松岡 順之介

3. 医療者の安全配慮義務に関する一考案

— 受刑者の自殺に対し医療者に求められた責任について —

産業医科大学産業保健学部基礎看護学 准教授
柳井 圭子

4. 遺伝子情報を活用した創薬の倫理 — 所有論的観点からの考察 —

熊本大学 特任助教
西田 晃一

5. 自閉症者における「共感」の現象学的考察 — 自閉症者の手記をとおして —

福岡市立福岡中央特別支援学校/福岡大学大学院
眞次 浩司

6. 特別講演 臨床倫理とは何か

東京大学人文科学研究科上廣死生学講座 教授
日本医学哲学・倫理学会 会長
清水 哲郎